



道に迷っていた外国人観光客は
日本オス猿チ○ポ 目当ての
ドスケベメスガキでした

「ヨッシャー！今日は有給でアキバジャンクショップ巡りだぜ！
……ん？」

なんか困ってそうな外国人っぽい女の子がいるぞ。

今日平日だから人少ないし、

見た目が派手だからか誰にも声掛けてもらえてないな……。

うーん。仕方ない。



「君、道に迷ってるの?」

「あっ! やっと声を掛けてくれる人がいたわ」

「うおっ。日本語上手だね」



「うん！」

日本のアニメが大好きで見まくってたら日本語ペラペラになったわ！
でもパパとママはオタク文化に興味ないから
アタシ一人でアキバ観光に来たの。
それでね、ド〇キに行きたいんだけど、道迷っちゃって」

「ここから徒歩7分くらいだけど……。
君一人で観光は危なくない？」

「日本は治安いいからだいじょうぶよ！」

「いやいや……さすがに危ないって」



「アタナ親切ねとならアタシに付き合ってよ。
ドーキ連れてって」

「ええ・・・まあ暇だしいいよ。
君名前は？」

「アナンよ」

「アナン、ついてきて」



「ここがドキね！」

アダルトコナとはどこ？」

「は！？なんだって！？」

「アダルトコナとナと！」

日本のドキ！アダルトコナとナと！」

「いやいや君はダメでは！？」

「日本の女と一緒にしないで！」

日本人から見たらアタシは十八歳以上よ！ほら早く！」

「ええ・・・」



「ワァとオ。すごいわ」

「……(気まずい……)」

「これなんてパッケとジの女の子がとっても可愛いわ」

「(美少女外国人がオナホ持ってる……)」

「これ男性が使うおもちゃよね。」

「これ買って。あなたが使ってるどころ見せてよ」

「はあ!?!何言ってるの!?!」



「ダメなの?」

「ダメに決まってるだろ!!」

「。。。じゃあアナタに無理矢理

ココに連れ込まれたって騒ぐわよ、アタシ」

「コゝゝゝコイツゝゝゝ」

俺はアキバから徒歩圏内に住んでいるため、
アンナを家に呼ぶことになった。



「日本人の男にしては
おっきいわね♡」

「ちよっつくなッ♡」

ムムム

ドキドキ

ムム

ドキドキ

ムム

グ

グ

何なんだよこの展開ッ。。。♡



「ふうと♡」

アンナが亀頭から根本まで優しく息を吹きかける

「ッあ……♡やめッ……♡」



「なりカッ♡」

もふんっっっ♡♡

「うあッッッ！！！」

היי



一休



ローション たつぷりの

にゆるにゆるオナホをアンナが小さい手で

ぎゅッ♡と握りしめる

「はッ♡あッ♡♡♡♡♡」

「挿入しただけで

とっても気持ちよさそうね♡」



「いっぱいピストンしてあげるわ♥」

ぎゅッ♥と小さい手で握られながら

めちゅめちゅオナホを

めにゅん♥めにゅん♥と

上下にピストンさせるアンナ

「うああッッ
すげッッッッ♥」



こんな可愛い洋ロリが俺のチンポをオナホで扱ってるツツ・・・♡
自分で扱うのと全然違えツツ・・・♡

[illegible]

ドゥドゥ



花嫁

出

出

たぽ ツ ツ ♥ に ゆ る ツ ツ ♥
めち ゆ ツ ♥ め ぷ ん ツ ツ ♥

「イツ♡♡♡♡♡ツツツツツ!」

「ん？？？？？」



ピタッ
ツッ
ツッ
ツッ

「ツッ！ツッ！ツッ！なんで△△△△ツッ」

「あはッッ♡腰ガクガクしてる♡♡♡♡」



777

「やんっ♡押し倒されちゃった♡

・・・日本人のオトコにしてはたくましいわね♡」

ドキ
ドキ

「バカにすんなッ・・・♡
散々煽ってきやがってッ・・・!」

ビキ
ビキ

ッ
ッ
ッ

ッ
ッ
ッ

レレ
レレ
レレ

レレ
レレ
レレ



「すげッ♡♡♡」

ズパッ♡♡♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

白くてもちもちなデカ乳谷間を
オナホローションまみれの
ギンギンチンポでガン突きする

「はあッ♡あッ♡」

「ふっ♡
モンキーね♡」



「るッッセッッ♥♥♥

日本オス猿の濃厚ザーメン
ぶちまけてやるッッッ♥♥♥

ぬぷっっ♥♥ズプッッ♥♥♥

ぬちゅッッ♥♥♥

ズッッ

「んッッ♥♥♥」

やにゅ♥♥♥

ヴァッ、
グチャッ

グチャッ

ぬいッ

おんっ♥♥♥

おんっ♥♥♥

んっ♥♥♥

おんっ♥♥♥

んっ♥♥♥

おんっ♥♥♥

ふーん

ドピュルルルツツツ♡



הנה

“



「はッ♡あッ♡♡♡♡♡」

「くっさ♡」

オス猿さんのおチンポは
営業終了デスか？♡」

ドキ
ドキ

「クニ♡♡」

グニッ

ドキ
ドキ

グニッ

グニッ

ムリッ
ムリッ

グニッ

グニッ

ムリッ
ムリッ

グニッ



「んっ♡はっ♡はあっ♡」

「言つとくが俺は絶倫だからなっ♡
こうなったらとことんハメ倒してやるっ♡」

「ゼツリン・・・？」
んっ♡」



パンパンパンパンパンッ♡♡♡♡♡

「あッ♡奥ッッ♡きもちいいッ♡」

エウ♡

エウ♡

エウ♡

エウ♡

「ああッ♡」

早熟洋ロリマン♡コよすギッッ♡♡♡



アンナの子宮の奥をとんとんと
しつこく突くとマン壁が
むぎゅりゅりゅと締まる

「おッ♡おッ♡♡♡」
「チンポに集中してきたなッ♡♡」



「アンナツツ♥アクメしろツツ♥」

パチタン♥パチタン♥パチタン♥パチタン♥

「はッ♥おッ♥
おッ♥おッ♥」



ぶひゅーん

「んがッ♡イクッ♡♡」

4
キ
コ
ッ
♡



4
キ
コ
♡

ちんぽ

リヤ

[illegible]

11월 30일



ה"ח



En



「はッ♡あッ♡

アナタのおチンポ結構すごいわ・・・♡
アタシのセフレに並ぶくらいかも♡」

「あ？なんだよそれ

気に食わねえ言い方だな」

「ぞお？

日本人男からしたら外人チンポ並みって
すっごい褒め言葉だと思うけど？♡」

「・・・」



「あっ♡あッッ♡イイッッ♡」

「くっくっ」

「くっくっ」

「くっくっ」

「くっくっ」

「くっくっ」

「くっくっ」

「くっくっ」

「くっくっ」

「オス猿チンポで随分とよがってんな♡」



「おッ♡
最近ずうっつと家族旅行だったから
久しぶりのおチンポなんだものッッ♡」

「最初から日本人のチンポが目当てだったんだな♡」

「ん♡ぞおッ♡」





「んおツツツ♥」

パンパンパンパンパン♥♥♥

「洋ロリビッチがツツツ♥♥♥」

ズン...

ズン...

ドン!

グッ

ズン...

ズン...

ズン...

ズン...

ズン...

ズン...

ズン...

ズン...

「キッツキツマンコに
やつと俺のオス猿チンポが馴染んできたな♥」

「おッッ♥んおッッ♥」

アンナのアクメ寸前マンコが
チンポを締め付ける

「あーッッ♥イクッッッ♥」

バチタンッ♥バチタンッ♥バチタンッ♥



クキッ♥

クキッ♥

はい

はい

イクッ♥

イクッ♥

イクッ♥

イクッ♥

イクッ♥

イクッ♥

イクッ♥

イクッ♥

イクッ♥



「おおおお」

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ズチマン♡ズビ♡ズビ♡ズビ♡ズビ♡

「はッ♡あッ♡ちよッまッ♡♡♡」

「んだよ日本オス猿の
チンポでへばってんのか？」



「んっ♡違ラッ♡」

ちよっと休憩したいのよおっ♡」

「ダメに決まっつてんだろ！」

日本式ブラックチンポ労働に

休みがあるワケねえだろうが！」

「んおっ♡
あッ♡」

い、イミわかんないですけどッッ！！

ビクッ♡
ビクッ♡

グッ♡

グッ♡

ビクッ♡
ビクッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡

ロリオナ使わせろツツツ！！」

バチ
コン
ッ
ッ
ッ
♡
♡
♡

笑

11K1032



じやま
ぼ

まろ
しやほ

いけるん♡

「ん な ツ ツ ツ ツ ツ ツ ツ」

「アんなのマンコきつついのに
奥までずっぽり入るから最高のオナホだわ
さすが外国人♥♥」

「あッッッ♥♥ん♥♥ッッッ♥♥」

「オス猿チンポに夢中だな♥」



「あーッッ♥

ギゅうギゅうにマンコ締め付けやがってッッッ♥♥♥

パンパンパンパン♡♡♡♡♡

「おおッッ♡♡♡♡♡」

「イケッッ♥♥アクメしろッッ♥♥」

「くっくっく」

「くっく」



「くっく」

「くっく」

「くっく」

「くっく」

「くっく」

「くっく」

「くっく」

「くっく」

「くっく」

「くっく」

「くっく」

**ドビ
ムル
ムル
ムル
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ
♡
♡**

「おっ
おっ
ッ
ッ
♡
♡
♡
」



「ド○キでオナホと一緒に買っておいたバニー服
アンナお前めっちゃ似合うじゃん♥」

「いつの間に・・・♥」

「この恰好フツウに恥ずかしいんだけど♥」

「あゝ♥」

「見てるだけで精子がどくどく金玉に溜まってくるぜ」♥♥

「・・・♥」



「おんッッッッッ♡」

ズプウウウッッッ♡

ん♡
ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

「あッ♡あッ♡あッ♡」

ズルン♡

たろ♡

10%

10%

4%

2%

10%

10%

たろ♡

ん♡
ん♡

ん♡

ビクッ

ビクッ

ん♡

下から思いつき突くと
白くてもっちりしたアンナの
デカパイが
ぶるんぶるん♡と揺れる



「おッッ♥イクッッ♥またイクッッ♥」

「すっかりオス猿チンポにハマってんじゃん♥」

「おっ、おっ、おっ♥」

「イクイクイクッッ♥」

アンナのきつきつとろとろおまんこが

むぎゅッッ♥むぎゅッッ♥と搾精運動してる

「うあッッ♥すっげッッ♥♥♥♥」

「おっ、おっ、おっ♥」

「おっ、おっ、おっ♥」

「おっ、おっ、おっ♥」



ビュルルルッ♡♡♡

イグッ♡♡♡



「そ……そろそろホテルに戻らなきゃ……♡」

「ん？もうそんな時間か。」

「じゃあ最後にもう一発な」

「んなッ……♡
アナタ本当に日本人？」

「れっきとした日本男児だぜ？w」

「……信じらんない……♡」



「じゅるっっ♡じゅるるっっ♡」

アンナのやあらかいベロに

吸い付きながら

パンパンパンッ♡とチンポをハメる

「んんんッッッッッ♡」

クキッ♡



A red, stylized signature or logo, possibly reading 'Wu', with a white outline. It is located in the bottom right corner of the page.

ちゅるちゅる♡

the 30

レギュラー

もう今後の人生でこんなエロイ体験
二度とできるはずがないと思いつながら

ねちつくくふわもちデカパイを
揉みしだきチンポを突き上げ
アンナとベロを絡ませる

「んっ♡ふはっ♡んっ♡じゅっ♡んっ♡」





「くっくっそエロ過ギッ♡
まだまだハメてえッッッ♡」

パンパンパンパン♡♡♡♡

「おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡」



「あーッッッッ♥

また射精るッッッッ♥」

ビュルルルルッッッッ♥♥♥♥

「んっおシシシシ♥」



キコ



g o o d



♪

הערה:



カッ

Handwritten text: 40%



「どうしてこうなった・・・？」

「パパとママが日本を気に入ってくれたおかげで
日本に残ることができてよかったワ♥
こんなにお腹もおっきくなったことだしね♥」



「ふっふっ♡」

ズパン♡♡♡♡

エカッ

「うおッッッ♡」

エカッ♡

エカッ♡

ズパン♡

ズパン♡



「んっっ♡んっっ♡」

アナタのおチンポやっぱりすっぴんハイクイッ……♡」

エカッ

んっっ♡

んっっ♡

んっっ♡

んっっ♡

んっっ♡

んっっ♡

んっっ♡

「ッッッ♡」

アンのポテ腹マンココキすっげッッ♡♡」



「んあッ♡」

お迎え棒パンパンしてスッスッ♡

パチタン♡パチタン♡パチタン♡パチタン♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

「なんだよソレツツ♡
初めて聞く日本語ツツ♡
うツツ♡ヤバツツ♡♡」



「アンナツツ♥射精すぞツツツ」

「あッ♥」

ボデ腹おマンコにたくさん
びゅららららととってこでツツツ♥

「ツツツ♥」

バチュンツツ♥バチュンツツ♥バチュンツツ♥



「射精るッッッッ♥」

ドビュルルルルッッ♥♥♥

「んおッッッ♥♥」



「んっ・・・♡

日本に来て本当によかったワ♡

・・・じゃあそろそろド○キに行つて

新しいオモチャ買いに行きましょ♡」

「ちよ！待てアンナツツ！

その腹でド○キのアダルトコーナーはマズイって！……」

ド○キ
ド○キ

ド○キ

ド○キ

ド○キ

ド○キ

END